



「食と福祉を結ぶ」をテーマにマドレーヌ販売店「マドマドレ」を運営。マドレーヌの袋詰め、ラベル貼りなどの作業は、就労継続支援事業所が担い、障がいのある人の就労や収入につなげる。



柔道整復師による
ボディメンテナンス

「マドマドレ」で販売するマドレーヌ。大学生との共同開発による新商品も。



「さっぽろまちづくりスマイル企業（ゴールド企業）」に認定。子ども向けのサッカー大会で保護者も参加できる健康測定会を開催。

■ 企業概要

- 設立：2011年
- 資本金：140万円
- 従業員：2名
- 事業：福祉（就労支援・菓子製造）

2年連続で
ブライト500
に認定！

※HYK=ほっかいどう
からゆめをかたち

■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- 胆振東部地震で店舗が被災し「元気」「健康」の重要性を強く認識。保険会社の紹介を契機に健康経営を知り、「出来ることから小さく始める」という経営方針に沿って、健康経営も小さくチャレンジ。当初は申請書のケアレスミスで不認定。少しずつ試行錯誤をしながら実施。

■ 健康経営に関する取組内容

- 「1日7H労働」「土日祝祭日の完全休暇」「7年連続残業時間ゼロ、有給休暇100%取得」等、ワークライフバランスを積極的に推進。
- テレワークと時差出勤を交えたハイブリッドワークの導入等により、より働きやすい環境づくりに挑戦。
- バースデー休暇制度～大人になって誕生日を大切に出来るように、会社負担で誕生日はお休みに。
- 定期的に、柔道整復師によるボディメンテナンスを就業時間内に会社負担で実施。
- 商工会議所が会員企業に提供するAI活用がんリスク検査キットの導入など、常にアンテナを張り「これいいな」と思えるモノ・コトを活用。

■ 取組の効果

- 「小さな会社」だからできることがある。健康経営を契機に地域を元気にしたいという思いから、まちづくり活動に発展。産学官金農福連携により新たな事業も創出。
- 健康経営を「従業員を大切にする会社に見える化したマーク」と定義。従業員が自分・身体・心に気をつかうようになり、いろんな会社や大学等いろいろお話をしてもらえるところが増加。